

組織的な若手研究者等海外派遣プログラム報告書

氏名： 秋山 晶子	提出日：平成 23 年 7 月 20 日
東南アジア研究所における職名：特任研究員 *右記の該当する職位に○をつけて下さい。(講師・助教・助手・ <input type="checkbox"/> ポストドク・博士課程学生・修士課程学生・学部学生)	
派遣先の研究機関等(調査を実施した国名・機関名(日本語で記載)及びカウンターパート名)： イギリス・サッセックス大学開発学研究所、マイケル・ロビンソン博士 *派遣先の研究機関等の種類について右記の該当する箇所に○をつけてください。(大学・研究機関・企業・その他)	
派遣先の研究機関等での職名：客員研究員(Visiting Fellow)	
派遣期間： 平成 23 年 5 月 25 日 ~ 平成 23 年 7 月 15 日 (派遣日数：57 日)	
研究活動等の主な内容(該当する番号に○をつけてください。複数可) <input checked="" type="checkbox"/> ①研究・実験 <input type="checkbox"/> ②フィールドワーク <input type="checkbox"/> ③セミナー <input type="checkbox"/> ④インターンシップ <input type="checkbox"/> ⑤サマースクール等の講習 <input type="checkbox"/> ⑥学会出席 <input type="checkbox"/> ⑦単位取得等 <input type="checkbox"/> ⑧その他	
研究活動の主な領域(該当する番号に1つ○をつけて下さい。) <input type="checkbox"/> ①人文学 <input checked="" type="checkbox"/> ②社会科学 <input type="checkbox"/> ③数物系科学 <input type="checkbox"/> ④化学 <input type="checkbox"/> ⑤工学 <input type="checkbox"/> ⑥生物学 <input type="checkbox"/> ⑦農学 <input type="checkbox"/> ⑧医歯薬学 <input type="checkbox"/> ⑨総合領域 <input type="checkbox"/> ⑩複合新領域	
派遣の概要(500~700字程度) 本派遣の目的は、これまで実施してきた南インド農村を軸とした有機農産物の生産・流通・消費に関する調査データを整理し、その成果を国際学会誌に向けて発信することである。 そのため、サッセックス大学開発研究所(Institute of Development Studies, Sussex University)のマイケル・ロビンソン博士の指導の下、2月から5月の2ヶ月間、南インドの農村において行った現地調査のデータの分析を進めるとともに、文献調査、研究所のセミナーの参加を行いながら論文の執筆の準備を実施した。	
事業に係る研究成果(500~700字程度) 約2ヶ月間にわたる派遣の間、データの分析と文献調査を行い、論文投稿の準備を進めた。その結果、指導教官のアドバイスもあり、2本の論文をJournal of Agricultural SystemsとPeasant Studiesに向けて執筆することとなった。 その1つは、農民運動、環境運動の歴史的背景を踏まえ、ケーララの農業政策における新たな傾向を論じるものである。この論文の目的は、1990年代以降の経済自由化の進行の中で、社会運動の影響力の強いケーララ州がいかに舵取りを行ってきたのかを解明することである。また、この論文は、博士論文の議論により詳細な歴史的背景を加えることとなる。もう1つは、食のグローバル価値連鎖の議論を踏まえ、ケーララの調査村で現在、普及が進んでいる有機農業認証の可能性と問題点を論じる内容となる。 上記の投稿論文は、次の派遣期間の前半(8月中)に草稿を仕上げ、その内容を所属の研究所でのセミナーで発表を行う。そして、そこで得た批判、アドバイスを加えて9月末までに最終稿を仕上げる予定である。	